

廃棄物焼却施設の余熱等の有効活用を支援します。

補助対象者



民間団体

募集時期

平成31年4月頃（予定）

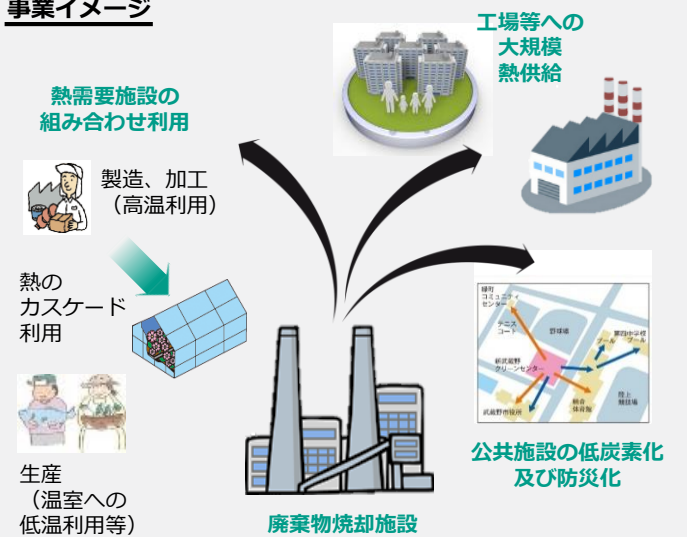
補助要件

- ・ 廃棄物焼却施設の余熱等の有効活用に係る **FS調査（実現可能性調査）の実施**
（熱需要施設への組み合わせ利用、工場等への大規模熱供給、公共施設の低炭素化・防災化等）
- ・ 廃棄物焼却施設からの余熱等を地域の **需要施設に供給するための付帯設備等の導入**
（熱導管、電力自営線、熱交換器、受変電設備等）

補助内容

- ・ **FS調査：実施費用の一定額を支援**
- ・ **設備等導入：設備等の導入費用の1/2を支援**

事業イメージ



このような民間団体に
おすすめします。



- ・ 廃棄物処理システムにおけるコスト削減を進めたい。
- ・ エネルギー供給（余熱、発電）の新規事業を興したい。
- ・ 災害時のエネルギー源を確保したい。
- ・ CO₂排出量を削減したい。 etc.

ぜひ
ご検討
ください



事業目的・概要等

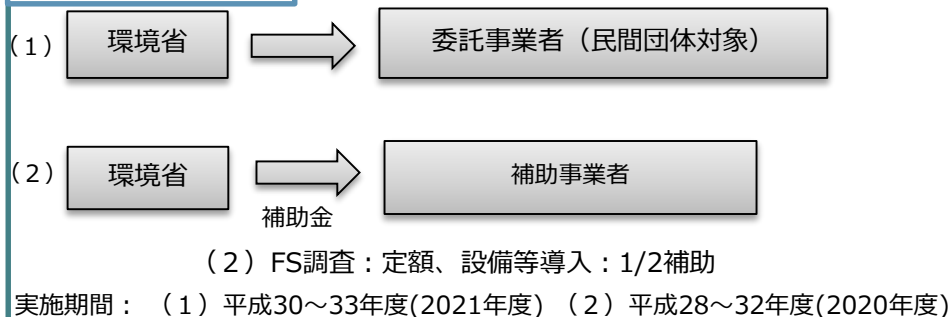
背景・目的

- 収集運搬から最終処分までの廃棄物処理全体で、既に他分野で実装されている有望な技術も含め、低炭素化技術の導入を進めていく必要があるため、技術のリストアップ及び実装可能性の調査を実施する。また、地域の特性に応じた最適な一連の廃棄物処理システムにおける低炭素・省CO₂対策を検証・提案し、その実現可能性を調査する。更にガイダンスを策定し、全国の市町村等へ広く周知・徹底を図る。
- 廃棄物焼却施設等からの余熱や発電電力を有効利用し、地域における低炭素化及び防災能力の向上等を図る。

事業概要

- (1) 廃棄物処理システムにおける低炭素・省CO₂対策普及促進事業（技術評価・ガイダンス策定事業）（200百万円）
- (2) 廃棄物焼却施設の余熱等を利用した地域低炭素化モデル事業（余熱の有効活用に係るFS調査・設備等導入補助）（100百万円）
※前年限りの事業 廃棄物エネルギー地域活用計画策定検討調査（100百万円）

事業スキーム



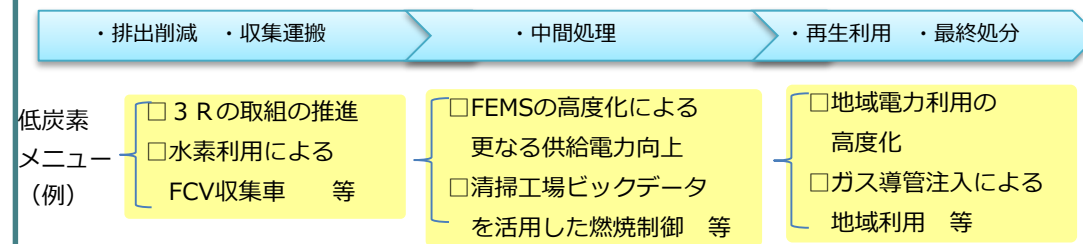
期待される効果

- ・ 収集運搬・中間処理・最終処分に渡る廃棄物処理システム全体における低炭素化・省CO₂対策の促進
- ・ 廃棄物焼却施設等による未利用熱の有効活用（CO₂削減量：当該年度1,315t-CO₂、2030年度約4万t-CO₂）

イメージ

(1) 廃棄物処理システムにおける低炭素・省CO₂対策普及促進事業

○ 廃棄物処理の各段階での低炭素化技術のリストアップ及び実装可能性の調査（技術評価）
廃棄物処理システムにおける低炭素・省CO₂対策の検証・提案及びその実現可能性調査



各メニューを組み合わせ、地域特性に応じた廃棄物処理システム低炭素ガイダンスを作成

(2) 廃棄物焼却施設の余熱等を利用した地域低炭素化モデル事業

